

本日、ここに令和2年市議会11月会議が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました諸議案につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、今月7日、本市職員が飲酒運転による道路交通法違反行為により逮捕されましたことにつきまして、市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

これまで機会あるごとに注意喚起していたにもかかわらず、このような事態となりましたことは、市民の皆様の信頼を著しく損ねるものであります。改めまして、全ての職員に対し、一人ひとりが飲酒運転の根絶を深く心に刻み、全体の奉仕者としての責任を強く自覚し、強い使命感と倫理観をもって職務にあたるよう指導をいたしました。

今回の事態を重く受け止め、今後このようなことが二度と発生しないよう、服務規律の確保と綱紀粛正の一層の徹底に努めてまいり所存であります。

次に、クマの出没についてであります。

今年は、クマのエサとなるブナ等が凶作であったため、全国各地でクマがエサを求めて人里近くの里山や市街地に出没し、被害が出るケースが相次いでおります。

市内はもとより、県内全域でも多くの目撃情報があり、県は、クマによる人身被害の危険性が高まったことから、10月8日に出没警戒情報を発令いたしました。本市におきましても、市民の安全を第一に、白山市メールや防災行政無線、広報車等で注意喚起を行ってきたところであります。

ただ残念ながら、去る10月16日に、鶴来地域の明法島町地内にてクマが出没し、4名の方が負傷されました。改めて、被害にあわれました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

また、その後も相次いでクマが目撃されており、捕獲に際しまして、猟友会の皆様をはじめ、多くの関係機関のご協力により、迅速に対応ができましたことに、深く感謝を申し上げます。

本市では、この度の人身被害を受け、速やかに市役所内のクマ対策会議を行うとともに、10月29日には、県及び白山警察署、消防団、猟友会並びに学校・保育関

係等の皆様にお集まりをいただき、ツキノワグマ対策本部会議を開催し、クマが市街地に出没した際の関係機関の役割や連携、迅速な対応について確認をいたしたところであります。

また、クマの目撃情報があった今月10日には、試験的に赤外線カメラ付きドローンを建物周辺での捜索に活用をいたしました。クマの発見には至りませんでした。なお、捜索や捕獲時に対応する方々の安全確保のための防具等の追加購入や赤外線カメラ付きドローンの導入につきましては、本日、補正予算を計上させていただいております。

今後とも、県及び猟友会をはじめ、関係団体との連携を密にし、適切・迅速に対応し、市民の安全確保に努めてまいりたいと考えております。

次に、新型コロナウイルス感染症についてであります。

市民の皆様、事業者の皆様には、日頃より、感染防止対策にご理解とご協力をいただきまして、改めて心よりお礼申し上げます。また、医療機関、福祉関係従事者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

今月に入り、新型コロナウイルス感染症の国内の一日当たりの新規の感染者数が第2波のピークを上回り、過去最多を更新するなど、都市部を中心に感染が再拡大しております。

県内におきましては、幸いにも今は落ち着いている状況にありますが、緊急事態宣言が発令された4月には238名の新規感染者が確認され、第2波に襲われた8月は305名と急増をいたしました。

本市におきましても、第1波の4月に26名、第2波の8月には20名の新規感染者が確認されたところであり、今般の第3波ともいえる再拡大に、今後、県内さらには市内への急激な広がりを危惧するところであり、感染拡大に警戒を強めてまいりたいと考えております。現在、本市のこれまでの累計感染者は、70名となっております。なお、4名の方が治療中であり、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

また、これから本格的な冬を迎え、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行も懸念されております。本市では、高齢者のインフルエンザ予防接種につきまして、接種開始日を早めるとともに、個人負担額につきましても、1,000

円に引き下げを行ったところであります。これらにより、10月は、昨年と比較し、3倍以上となる約1万3,500人の高齢者が接種を終えられています。接種期間は、来年1月31日までですが、今後の流行に備えて、早目の接種をお願いするものであります。

市民の皆様には、引き続き、基本的なマスクの着用や手洗いの実施、3密の回避などの新しい生活様式の実践並びにこまめな換気対策に努めていただきますようお願い申し上げます。また、寒い季節となりますので、健康管理にも十分にご留意いただきたいと思いますと思っております。

市といたしましても、感染拡大防止と地域経済活動の回復に向けて、しっかりと対応してまいり所存であります。

それでは、提案いたしました諸議案につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、議案第99号「令和2年度白山市一般会計補正予算(第10号)」についてであります。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、刻々と変化する状況の中、これまで、議員各位のご理解とご協力を賜り、市民の安全安心を第一に、必要な対策及び支援策を進めてまいりました。

本日、現在の状況を踏まえ、必要な感染症対策を速やかに実行するため、第8次となる補正予算をお願いするものであります。加えて、クマの出没が相次いでいることから、早急な対策を講じるものであります。

感染症対策に2億5,084万2千円を、クマ対策に325万6千円を計上する一方、イベント等の自粛及び感染症対策事業の完了に伴う事業費として1億6,915万4千円を減額するものであり、補正予算総額は、8,494万4千円となるものであります。

はじめに、感染症対策関連に係る主なものといたしまして、総務費では、これから年末年始に多くの各種会合の開催が見込まれることから、388町内会すべてに、感染拡大防止に役立てていただくため、非接触型電子体温計及び手指消毒液を配布する経費を計上するほか、白山市議会議員選挙に係る投票所及び開票所における

感染症対策のための衛生用品等の購入費を計上いたしております。また、コロナ禍において、市役所の来庁者の減少や滞在時間の減少につなげ、感染リスクの軽減を図るため、住民票やごみ、リサイクル、子育て関連など、特に問い合わせが多く見込まれる項目について、スマートフォン等からの問い合わせに、AIが自動で回答するシステムを導入することとし、所要の経費を計上いたしております。

民生費におきましては、感染症の拡大に伴い、各家庭で保育を行う機会が増えている中で、絵本の読み聞かせなど、家庭での保育支援を目的として、0歳から6歳の未就学児に1人当たり5千円分の図書カードを配布することとし、所要の経費を計上いたしております。

衛生費におきましては、感染拡大が続き、感染者が再び増加していることから、公立松任石川中央病院及びつるぎ病院において最前線で感染症の診療等に当たる医療従事者を支援するため、当該医療従事者へ支給される特殊勤務手当について、構成団体の本市、野々市市、川北町で負担することとし、所要の経費を計上するほか、65歳以上の無症状の高齢者が、不安解消や重症化抑制のため、公立松任石川中央病院において、自費でPCR検査を受ける場合の検査費用の助成に係る経費を計上するものであり、これにより自己負担額1万円で検査を受けられるようになります。

労働費におきましては、感染拡大に伴い、就労機会を失った方々が就業に向けたスキルアップとして職業訓練を受講する際に支援する給付金に不足が生じたため、追加補正するものであり、また、商工費におきましては、石川県休業要請協力金の負担金及び白山市地域応援券事業の完了に伴い、不用となります事業費を減額補正するものであります。

消防費におきましては、今年12日に「SDGsにおける電気自動車の利活用推進に関する連携協定」を締結し、災害時に民間企業から電気自動車の貸与を受けられるようになったことを受け、避難所の感染防止対策として、電気自動車から電源供給ができるよう、外部給電器を購入する経費を計上するものであります。

教育費におきましては、感染症対策と熱中症対策に対応した避難所運営を行うため、二次避難施設となっております若宮公園体育館、美川スポーツセンター及び白山郷公園体育館の空調設備の整備について、今年度中に工事契約を締結するため、債務負担行為の設定をお願いするものであります。また、感染症の拡大に伴い、子どもたちが図書館等へ外出する機会が減少する中で、家庭での学習を支援する目的

として、小中学生に1人当たり5千円分の図書カードを配布することとし、所要の経費を計上するほか、公民館において、利用される地域の皆様の感染リスクの軽減を図るため、トイレの洋式化に伴う改修費を計上するものであります。

次に、クマの出没対策関連に係るものとしたしまして、相次ぐクマの出没及びこの度の人身被害を受け、クマの捜索や捕獲時の安全確保のために必要な防具等の購入並びに捜索に有効な赤外線カメラを搭載したドローンの導入に係る所要の経費を計上するほか、クマの出没が確認された地域の小中学校の児童・生徒にクマよけ鈴の配布を行う経費を計上いたしております。

次に、議案第100号の条例案について、ご説明申し上げます。

「白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、令和2年石川県人事委員会勧告に準拠し、期末手当の支給月数の引き下げについて、関係規定を改正するものであります。

以上をもちまして、11月会議に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒、慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜われますようお願い申し上げます。